

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公開番号】特開2017-205389(P2017-205389A)

【公開日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2016-101162(P2016-101162)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月26日(2017.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像表示による演出を実行可能な遊技機であって、

所定画像の視認性を基準状態よりも低い視認困難状態に変化させる視認困難演出を実行する視認困難演出実行手段と、

前記視認困難演出以外の特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記視認困難演出の実行期間と前記特定演出の実行期間とが重複している重複期間があるときに、当該重複期間中において、前記特定演出による音出力を制限する制限手段とを備え、

前記制限手段は、前記重複期間中において、入賞に応じて出力する入賞音の音出力を制限しない、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 画像表示による演出(変動表示演出、予告演出等)を実行可能な遊技機(パチンコ遊技機 1 等)であって、

所定画像(変動表示演出の画像等)の視認性を基準状態よりも低い視認困難状態(ブラックアウト状態等)に変化させる視認困難演出(ブラックアウト演出等)を実行する視認困難演出実行手段(演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0、図 1 5 の S 8 0 1, S 8 0 2 等)と、

前記視認困難演出以外の特定演出(ステップアップ予告演出、BGM 演出等)を実行する特定演出実行手段(演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0、図 1 5 の S 8 0 1, S 8 0 2 等)と、

前記視認困難演出の実行期間と前記特定演出の実行期間とが重複している重複期間(図 2 0 に示すブラックアウト演出とステップアップ予告演出との重複期間等)があるときに、当該重複期間中において、前記特定演出による音出力を制限する(図 2 0 (d) のようにステップアップ予告音を消音する、図 2 0 (e) のように BGM 音を最小限音にする等

。) 制限手段 (演出制御用マイクロコンピュータ 100、図 15 の S 801、S 802、
図 22 の S 636、図 23 の S 645 等) とを備え、前記制限手段は、前記重複期間中
において、入賞に応じて出力する入賞音 (入賞音) の音出力を制限しない (図 20 (g))

。